
Cross Hearts

天城 枢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Cross Hearts

【Zコード】

Z2253BA

【作者名】

天城 枢

【あらすじ】

なんの変哲もない人生を送るそれがすべてだと思っていた、彼女に出会うまでは・・・。彼女は俺の知らない世界を知っていた、否、俺だけが知らなかつた。俺の友人達は知つていた、そして俺を巻き込まないようにならないフリをしていた。

夜の世界それは異能者達の殺し合い最後の独りになるまで、還る条件は単純だつた自分以外の一人を殺すただそれだけ・・・

プロローグ

ハアハアと息を荒らし、ボロボロの体を引きずりながら、一人の少女が歩いていた。綺麗な顔は擦り傷で、スタイルの良い体から血を流している。もちろん服は所々が破れている。

空は曇つて月は見えない否晴れても見えないだろう今日は新月なのだから・・・

「眠気がハンパッない」

「オツス、夜斗。相変わらず眠そうだな、そういうや昨日の新月はすごかつたなあ！」

「無理やり話題を作ったな・・・悪いが見てないんだ。すまんな、純」

ホームルーム前の他愛もないただの会話していた俺と純は、黒板側のドアにクラスメイトが集まっていたり注目してたりすることに気付いた。

「今日は姫様、来ないと思つていたぜ」

「俺もそう思つた」

いつも早く来る、姫様こと更級 瑞姫が今回遅れたことにクラスメイトが驚いたり心配して駆け寄つたのだろう・・・女子達は、だが。男子達は単純だ。その美しい容姿に見とれているだけだ。

「あれだけ可愛くて性格も良い、付き合いたいよなあ？」

「あーそだな」

「適切な返事だな」「可愛いのは認めるが性格は猫被つてるかもしけないからなんとも言えない」

そんなことを話してると一つの足音が俺の横で止まつ・・・

「クールですね、相変わらず。ほんと惚れちゃいます。・・・おはよついざります、夜斗君」

周りには聞こえないボリューム、もちろん純には聞こえてるが・

・

「夜斗、殴って良いよな?...」

「純君もおはよう」「やあ

「あ、お、ねはよついざります。更級さ

ある意味、助かった・・・

キーンローンカーンローンとチャイムが鳴ったそれを合図に俺達は自分の席に座った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2253ba/>

Cross Hearts

2012年1月5日19時52分発行